

* 第12号 MINERVA ベンチャー会員 上場記念 *

去る12月16日(金)、ベンチャー支援機構 MINERVA のベンチャー会員企業の「ダブル・スコープ株式会社」が東証マザーズ市場に上場いたしました。ダブル・スコープ株式会社は、リチウムイオン二次電池用セパレーターの製造・販売を行っている企業です。今回の通信では、崔社長や社員の方に上場に至るまでのお話をお聞きしましたので、ご紹介させていただきます。



代表取締役社長 崔元根氏

【会社概要】

会社名：ダブル・スコープ株式会社 (URL: <http://w-scope.co.jp/>)

代表者：代表取締役社長 崔元根氏

所在地：川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP 東棟 210 TEL：044-812-3990

設立：2005年10月14日

資本金：23億9,088万円(2010年12月31日現在)

事業内容：リチウムイオン二次電池用セパレーターの製造・販売

I、崔社長のお話

① 上場後の今の心境

12月16日(上場日)の前後で会社も役員も何も変わっていません、この日を上場企業としての誕生日として考えて、これからまたあらたに成長の道を歩いていく、という気持ちです。

② 上場までの苦労話

会社設立以来、製品開発、営業、製造技術開発などにおいて、いろいろな苦労がありました。全社一丸となって問題点をクリアして上場することができました。

③ MINERVA のベンチャー会員企業への励ましの言葉

弊社のここまでの歩みに対して、MINERVA に関わる多くの方が支援してくれました。どんな困難があってもこのネットワークの中に必ず問題解決のヒントやアドバイスがあると思いますので、成功を信じて頑張りましょう。



12月16日(金) 東証マザーズ上場

II、従業員代表者のお話：取締役 管理本部長 福澤 吉隆 様

① 上場後の今の心境

これまでは未上場ということで社内と関係者だけの世界だったのが、株主や社会の中で多くの方が当社の業績のみならず一挙手一投足を見ているということで今まで以上の緊張感と責任感を感じています。

② 上場までの社員としての苦労話

内部統制、コンプライアンス体制など上場企業独特のいろいろなルール作りは、大変でしたが、そのおかげで強い会社組織になったと思っています。



韓国工場

III、御祝いの言葉

☆ (株) TNP オンザロード 代表取締役社長 山下 勝博

大変難しい事業を軌道に乗せるということ、やり遂げられた事は物凄く大きな成果だと感じます。特にこの事業は参入の為には先行投資の必要性だけでなく、材料という全ての製品の根幹部分を担うだけに、製品だけでなく会社としても業界から信頼を得る事は大変な事だったと思います。まさにゼロから創り上げてきた道のりには尋常ならざるご努力があったかと思えます。崔社長の強い信念がここに実ったことを心からお祝い申し上げ、益々のご発展をお祈り申し上げます。

☆ (株) TNP オンザロード インベストメントマネジャー 竹居 邦彦

2005年会社設立以来、幾多の困難を乗り越えて上場された崔社長の前には、更なるスコープがあるものと思います。担当として日本・韓国のベンチャーキャピタルを初め関係各位の皆様とこの気持ちを共有でき光栄に思います。今後の益々のご発展をお祈り申し上げます。

【お問い合わせ先】

(株) TNP パートナース・(株) TNP オンザロード

(TEL) 045-470-8088 (FAX) 045-470-8090

井汲 / 吉岡